

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

苅田町立与原小学校（福岡県）【指定校】

<校務利用> ③ アンケート結果（自由記述）の整理・分析

ChatGPT3.5、4.0使用

行事後のアンケートや研修後の意見・感想の整理・分析にChatGPTを活用した。その結果、大量のデータを迅速かつ的確に分類・要約することができ、具体的な課題や今後の改善点を見出すことができた。特に以下の点が効果的であった。

- 自由記述の回答をテーマごとに分類し、視覚的に示したこと
- 肯定的意見と改善提案を明確に分けた要約
- アンケートデータに基づく改善提案の提示

	低学年	中学年	高学年	特別支援・担任
有効だった 点	Canvaの活用によって、他の人の考え方をすくに眺めたり、自分の考えに取り入れられたりすることができた。	高学年が、高い考え方をしている児童に出会ったことで、自分の考えを以前より磨くことができた。	全体に対する応答が、Canvaの全体を一覧で見る機能の活用で、みんなに教示が通りやすかった。	ルーブリックを共有していたので、自力解決から機能の活用で、みんなに教示が通りやすかった。
有効だった 点	Canvaを活用して、全体の考えを見ることができたり、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canva、振り返り機能の活用で、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canva、振り返り機能の活用で、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canva、振り返り機能の活用で、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。
有効だった 点	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。
有効だった 点	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。
有効だった 点	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。
有効だった 点	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。
有効だった 点	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。
有効だった 点	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。
有効だった 点	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。	Canvaを活用することで、他の人の考えの考え方がよく、自分の考えを整理することができたり、自分の考えを整理することができた。

研究授業参観後の
自由記述のアンケート結果

Googleフォームなどでアンケートを実施し、自由記述の部分をまとめてプロンプトに貼り付け、次のような指示（プロンプト1～3）を一つずつ出していった。

<プロンプト1>

以下の小学校算数科授業後の教職員の意見・感想を整理・分析してください。
(ここにコピペ)

AIが出力

以下に内容を整理・分析しました。それぞれの学年や特別支援で有効だった教師の手立てや、子どもたちの学びの姿を整理・分析してください。

低学年:

- Canvaの活用
 - 他者の考えをすくに確認したり、自分の考えに取り入れられたりすることができた。
 - 自分の考えのまとめや見直しを持つために役立った。
- ルーブリックの共有
 - 学習目標やまとめを明確にし、子どもたちが振り返りや自力解決をしやすかった。
- 友だちの考えを参考にすること
 - 他者観察が容易になり、自分で解決方法を模索できた。

中学年:

- 教師の声かけの工夫
 - 優れた考え方を共有する声かけが有効で、子どもたちが他の視点にも目を向けることができた。
- Canvaや振り返り機能の活用
 - 他者の考えや思いを共有しやすく、比較を通じて学びを深められた。
- 前時の振り返り活動の実施
 - 振り返りを通じてキーワードを整理し、学びの方向性を明確にした。

高学年:

<プロンプト2>

上記の整理分析したものを、成果と課題に分けてください。

AIが出力

以下に成果と課題を整理しました。

成果

1. Canvaの活用

- 他者の考えを簡単に確認し、自分の考えに取り入れることで学びが深まった。
- 共有機能によって、移動せずに友達との考えや進捗を確認でき、学習効率が向上した。
- まとめや重要なポイントの共有を通じて、自己の足りない部分を補う良い手段となった。

2. ルーブリックの活用

- 学習の見通しが明確化され、自己解決や振り返りの質が向上した。
- 目標に向かっての学習の方向性を明確に持てるようになり、子どもたちの自律的な学びが促進された。

3. 教師の声かけの工夫

<プロンプト3>

上記の成果と課題を踏まえて、優先順位を考えた取組の改善案を提案してください。

AIが出力

以下に、改善案を優先順位付きで提案します。実施の効果や取り組みやすさを考慮して、短期・中期・長期で整理しました。

短期的改善（即時性が高く、すぐに取り組める）

1. Canvaの効果的な活用を促進

- 具体策
 - Canvaの使い方をガイドラインを作成し、子どもたちが迷わず活用できるようにする。
 - 「他者の考えをどう活かすか」のモデルケースを授業内で示す。
- 優先度 高
 - 理由: 現在の授業で既に使用しており、さらなる効果を引き出すための重要なステップ。

2. 教師の声かけの最適化

- 具体策
 - 「促進型の声かけ」に重点を置き、子どもたちの考えを引き出すタイミングや内容を工夫する。
 - 声かけの頻度を調整し、自主的に考える時間を確保する。
- 優先度 高
 - 理由: 声かけの工夫はどの学年にも効果があり、即時に実施可能。

3. 振り返り活動の強化

学校は様々なアンケートを実施するが、自由記述については、教師が結果を見て一覧にする、肯定意見と否定意見に分ける、分析する、改善案を提示する等、時間がかかっていた。

AIに集計や要約を任せ、提案された改善案が可能か、他に方法はないか等、創造的な仕事に時間をかけることが可能となった。

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

刈田町立与原小学校（福岡県）【指定校】

<校務利用> ⑤ 報告書の作成

ChatGPT3.5、4.0使用

研修会に出席し、学んだことを共有したり広めたりするためには、研修報告書の作成が欠かせない。研修会に参加していない人にもわかるように、また、研修後すぐに作成できるようにChatGPTで次のようなテンプレートを作成し活用した。

- 研修中のメモをそのままプロンプトの「# 内容」に入力する。
- 「# 内容」は、研修主題や研修で得られた気づき等、工夫する。
- 文字数や文体等の条件を示す。

教師が入力

プロンプト
あなたは教員の研修報告書を作成するためのプロフェッショナルなガイドラインを持っています。以下の条件と内容に基づき、研修報告書のタイトルと本文を作成してください。

条件：

- ・文字数はA4サイズ1枚程度（約500～800文字）
- ・文章は簡潔かつ明瞭に。
- ・文体は常体で統一。

内容：

研修の主題：「リーディングDX指導助言」

重点項目：

- ・自己選択・自己調整の場をつくる。
- ・協働的な学び ALTと学ぶだけでも協働的になる。
- ・一人の方が集中してできる児童は、自分ですることを選択。
- ・教師主導がなくなるわけではない。規律等、教えることも大事。
- ・コーチングの手法で質問形式で学びを自覚させていく。
- ・タブレットを使うのは、授業を変革するため。
- ・子どもがどのように思っているのか、感じているのか声を聞く学校は、進んでいく。
- ・子どもに委ねた風になっていないか？教師の子どもを理解する力や導くことも必要。
- ・子どもの問いを誘発して、やる気スイッチを入れる。

結論：自校の授業を見直す視点をもつことができた。優先順位をつけて改善していきたい。

出力形式：

タイトル：研修報告書の主題を反映したタイトルを付けてください。
本文：上記の条件と内容を基に報告書の本文を作成してください。

ここに研修中のメモを入力する

AIが出力

📌 タイトル：リーディングDX指導助言研修報告書

本文：

2024年12月〇日に行われた「リーディングDX指導助言」に関する研修について報告する。本研修の目的は、タブレットを活用した授業の変革を促し、児童が主体的に学ぶ場を構築するための指導方法を学ぶことであった。

研修では、以下の重点項目について助言がなされた。まず、児童が自己選択・自己調整を行う場を設ける重要性が挙げられた。一人で集中して学ぶことが得意な児童には、自分で行う課題を選ぶようにし、協働的な学びが効果的な場面では、ALTとの活動を通じて自然な形で協働性を育むべきとされた。一方で、教師主導の役割が全くなくなるわけではなく、規律や基本的な学びの姿勢を教えることも引き続き重要であることが強調された。

また、コーチングの手法を取り入れ、児童に質問形式で学びを振り返らせ、自覚を促すアプローチが有効とされた。タブレットは単なるツールではなく、授業そのものを変革するための鍵であることが示され、児童の感じ方や意見を聞き取る姿勢の大切さが述べられた。この姿勢が学校全体の進化を促す原動力になると指摘された。

さらに、「子どもに委ねている風になっていないか」という点も重要とされた。教師自身が児童を理解し、適切に導くことが不可欠であり、児童の問いに丁寧に答え、やる気スイッチを入れることが求められた。

ChatGPTにメッセージを送信する

これまでに作成した報告書をコピーして読み取らせ、「今後このような報告書を作成するためのプロンプトテンプレートを作成してください。」と指示することで、プロンプトテンプレートを作成することができた。研修会では、教師はメモをとることに集中でき、研修後すぐに報告書を作成できた。

<課題と解決策>

課題 1：ChatGPTは入力された情報を基に文章を生成するため、不正確な情報や研修の意図と異なる内容が出力される場合がある。

解決策：最終的な確認と修正を教師が行い、内容の整合性や意図が正確に反映されているかチェックする。

課題 2：細かいニュアンスや研修特有の背景知識を十分に反映できない場合がある。

解決策：ChatGPTに「研修の背景」や「重要なポイント」を具体的に伝え、修正指示を繰り返すことで精度を高める。

課題 3：便利さゆえに、教員が自ら考えたり文章を作成する機会が減る可能性がある。

解決策：ChatGPTは「補助ツール」と位置付け、あくまで報告書作成の補完として利用するように共通理解する。